



笑顔でゆめポッケを手にする子どもたち

コロナ禍での「信頼」の連鎖

コロナ禍にあった2020年は、日本を含む世界各地で、厳しい状況にある人々が増えてしまいました。これまでのジェンであれば、コロナという新たなニーズを受けて、現場に急行していたと思います。今回は、相手への感染リスク回避のため、現場への渡航を控えなければなりません。新たな形での支援活動は一筋縄でいかないことも多く、難しい対応を迫られるものでした。

それでも何とか活動を続けてこられたのは、ひとえにこれまで培った「信頼」のおかげです。現場では、被災者の方々と現地出身の同僚たちとの間の「信頼」、そして、現場の同僚たちと本部で働く我々との間の「信頼」。この「信頼」をより強固なものにするために約2年間取り組んできた仕組みづくりが、このような形で役立つとは思いませんでした。

そして何より、ジェンの活動を支えてくださる皆様が、ジェンに寄せてくださる「信頼」があります。信頼という目に見えないものにこれほど力強く支えられているからこそ支援活動を続けられている事実を思うと、感謝で胸がいっぱいになります。

皆様、今年も一年間、本当にありがとうございました。

2021年も、この信頼を少しずつ広げて、より広い地域で支援させていただきたく予定です。皆さまのご健康を祈りつつ、感謝と共に一年を終えさせていただきます。

JEN理事・事務局長

木山 啓子

スタッフの ひとこと

断捨離をして、過去何年も整理していなかった段ボール3つを処分しました。かけた時間は約1時間。決して短くはないけれど、1時間でなくなるなら、なぜ埃がかぶる前に行動を起こせなかったのか。一つひとつの行動に後悔のないよう、自分が進みたい方向に向けて日々歩んでいきたいです。(伊東)

長く続く紛争や大きな災害のあとで「生きる力」を支えていく ジェンの活動へのご支援のお願い

未使用の書き損じ年賀ハガキやハガキはありませんか？

あなたの未使用の(書き損じた)年賀状や官製ハガキ(郵政ハガキ)または、未使用切手をジェンの東京本部にお送りください。ジェンの支援活動のために活用させていただきます。



〒107-0052

東京都港区赤坂7-5-27-305

特定非営利活動法人ジェン「ハガキ・切手係」

生きるちからマンスリーサポーター

月々1,000円から始められる定額自動引き落とし型の寄付プログラムです。年4回発行のニュースレターをお届けするほか、活動報告会などさまざまなイベントのご案内をいち早くお知らせいたします。

※本誌掲載の記事、写真、イラストなどの無断転載は固くお断りいたします。
※QRコードを読み取る際、無料アプリをお使いの方は、アプリによって広告が表示される場合がございます。間違っても広告をクリックされないようご注意ください。

東京本部事務局の住所について

今回ニュースレターをお送りする際に使用している封筒の記載住所は旧住所となります。修正に要する費用などを勘案した結果、封筒に表示する住所については、当面古いままで使用し続けることといたしました。皆様にはご不便をおかけいたしますが、ご理解賜われますようお願い申し上げます。



特定非営利活動法人ジェン(JEN) 東京本部事務局

〒107-0052 東京都港区赤坂7-5-27-305
TEL: 03-5114-6201 FAX: 03-5114-6202

ホームページ <https://www.jen-npo.org/> Japan.Emergency.Ngo
NPO JEN 検索 @NGO_JEN

このニュースレターは継続可能な森林管理のもと生産された原料で製造された紙、FSC®認定紙を採用しています。



今年も「ゆめポッケ」を 配布しました

「アフガニスタン」 ● ゆめポッケ事業

「ゆめポッケ」は、ジェンの創立当初から各地で配布させていただいてます。アフガニスタンでの配布も15年間継続しています。紛争や災害で厳しい状況にある子どもたちのために、日本の子どもたちがおもちゃや文房具などを袋に詰めて現地に送ってつくれたものを配布しているのです。今年も、

パルワン県チャリカ地区にある22の小学校に通う1〜3年生6,241人に、11月初旬から中旬にかけて配布することができました。ゆめポッケによつて、子どもたちの勉強への意欲が高まっただけでなく、楽しそうに勉強する子どもたちの姿は、親御さんたちにも嬉しい思いを届けたようです。

鳩のイラストに込められた想い

ゆめポッケで届いた色鉛筆を使って小学校3年生の女の子が描いた鳩のイラストが届きました。そのイラストには、左のようなメッセージが添えられていました。平和を願う子どもたちの切実な思いが伝わってきます。

平和があれば
花ひらき幸せが訪れます。
私たちは平和な世界で前に進み、
輝くことができます。
私たちは平和を心から望んでいます、
平和が必要です。





たんぽぽこども園での学習会の様子(上)
10月12日に開催された学習会では黙祷が捧げられました(下)

「アフガニスタン」 ● 東部豪雨・鉄砲水災害支援 厳しい冬を、少しでも暖かく 越冬支援物資を届けました

土石流被害を受けたパルワン県チャリカでは、皆様からの温かいご支援で越冬支援物資を配布しました。その内容はサンダリ(日本のこたつに似た暖房器具)、サンダリ用の炭防水シート、大人用のズボン、子ども用のニット帽、女性用のスカーフ、シヨールなどです。土石流によって家屋が全壊した422世帯のうち、今回は、未亡人の方・高齢者・障がい者が世帯主の家庭・大家族で低収入の家庭・その他特別なニーズ(妊婦や精神障害者を持った方がいる)のある世帯を優先しました。同時に、ジェンの職員が、支援対象候補者の避難先を一世帯ずつ訪問して、越冬支援のニーズが本当にあるのかどうか、実際に見て確認しました。

昼夜の寒暖差が激しいチャリカでは、最低気温が0℃を下回る日も増えてきました。皆様からお預かりした温かいご支援は、今回支援をお届け

「宮城県丸森町」 ● 丸森町被災者の生活復興支援事業
あれから1年。
復興支援事業は次のフェーズへ

「宮城県丸森町」 ● 丸森町被災者の生活復興支援事業 あれから1年。 復興支援事業は次のフェーズへ

令和元年台風19号で甚大な被害を受けた丸森町への約1年間の復興支援事業が終了しました。事業の一環として防災研修を25回開催し、のべ500名を超える住民の皆様にご参加いただきました。活動を通して明らかになったのは、一人暮らしの高齢者や障がい者、乳幼児がいる世帯など、配慮が必要な住民の皆様が十分な支援を受けられて

いなかったことです。また、保育施設での災害時の水の確保が不十分であったため、災害後の保育再開に苦労があったことなどもわかってきました。こうした課題に対し、困難に直面した当事者の皆様が解決策を考え、解決できるようにジェンがお手伝いするべく、現在、次のフェーズに向けた準備を進めています。

できた被災者の方々へ復興に向けて歩き出すための活力になります。改めまして感謝申し上げます。



支援候補者を訪問するジェンの現地スタッフ

流木や瓦礫がいたる山積みの街の様子

支援の詳細はこちらをご覧ください。



「パキスタン」 ● 水・衛生環境改善支援 約5万人の住民に安全な飲み水を届ける 水衛生改善の事業が完了しました

クラム地区で続けてきた水衛生状況の改善支援事業が無事に完了しました。それまでは、水源から水を運ぶパイプが引かれておらず、住民たちは遠くにある水源まで一日に何度も水汲みに行かなければなりません。本事業によって、同区にある20の小学校

と14ヶ所の診療所を対象に水源の保護と、供給ラインを新設し、安全な飲み水が確保できるようになったほか、小学校や診療所にトイレを設置し、手洗い場などの衛生施設を建設・修復することができました。皆様からの温かいご支援に、心から感謝しております。



※本事業は、ジャパン・プラットフォームからの助成金やジェンの寄付金により実施しています。

手洗い指導の様子

「パキスタン」 ● 女子中学校 修学環境改善支援 女の子が安心できる学びの場を。 支援プロジェクトがいよいよスタートしました

クラウドファンディングで寄付をお願いしていた「パキスタンの女子中学校修学環境改善支援プロジェクト」は、皆様からのご支援のおかげで、941,000円を集めることができました。この活動にご理解とご協力をいただきましたこと、厚く御礼申し上げます。

コロナ禍の影響が懸念される中、10月から始めた物資調達作業はスムーズに完了し、11月から改善支援プロジェクトは、外壁の建設、校庭への遊具設置作業を開始しました。託していただいたご寄付で、女の子に安心できる学びの場を提供できるよう、最善を尽くしてまいります。



建設中の外壁

プロジェクトの進捗は、こちらをご覧ください。



新型コロナウイルス緊急支援

「パキスタン」
ハイバル・パフトゥンハー州(KP州)の中でもとくにインフラが整っていないクラム地区は、新型コロナウイルスの状況が悪化しており、新たな緊急支援を行うべく準備を進めています。新型コロナウイルス感染者が現在いる、もしくは過去にいた世帯・ロックダウンのために生計手段を失った世帯(日雇い労働者)・障害者のある世帯・他の疾患がある人がいる世帯・孤児がいる世帯・女性が世帯主の世帯などを基準に特定した300世帯以上を対象に、食料やマスク、消毒液などの感染防止キットなどを配布する予定です。

宮城県

コロナ禍で厳しい状況にあるひとり親世帯の支援活動を行っている「せんだいこども食堂」さん。「宮城の美味しいものプロジェクト」として、宮城県のおすすめ食材を入れたり、「保護者が笑顔になれば、子どもも笑顔になる」という思いのもと、保護者向けの内容を充実させるなど、さまざまな工夫を重ねながら事業を進めています。9月には、NPO法人登録を行い、活動基盤を強化し、事業の継続が決定したというニュースも届きました。ご支援くださる

方や事業に協力してくださる方も少しずつ増えており、食料品の宅配と文通事業を通じた「つながり」の輪がどんどん広がっているのを感じます。



ボランティアスタッフによる箱詰め作業の様子

「BOOK MAGIC」が少し変わります!

ブック・マジック

ジェンの「BOOK MAGIC」は、2020年12月下旬からブックオフオンラインが運営する「ボランティア宅本便」から「キモチと」の連携に変更になります。年の瀬が近くなってきて、大掃除をする方も多いのではないのでしょうか。ご自宅に眠っていた本やDVD、おもちゃなどがありましたら、ジェンのBOOK MAGICにぜひご参加ください。

※お送りいただけるもの詳細は、ジェンのホームページでご確認ください。
※「キモチと」をはじめ利用される方は会員登録(無料)が必要です。

●3つの変更ポイント

- 1 「キモチと」サイト内のフォームからのお申込みに
- 2 翌日集荷が可能に!
- 3 本やCD、DVDのほか、おもちゃやゲームソフトなどの回収も可能に

